#### あそびを通しての交流

### ネイパル森

# Viva あそび場

#### 1 事業のねらい

日本だけでなく、様々な国で行われる遊びに焦点を当てた体験活動を 行い、異年齢間の交流を図る。

#### 2 事業の概要

- ■期日 R6.5.18(土)~19(日) 1 泊 2 日
- ■対象 小学3年生~小学6年生
- ■人数 50 名
- ■場所 ネイパル森

#### 3 プログラム

	11:00 11:30			1:30 12	12:30 13:30			16:30 17:30 18:30			19:30 22:00	
5/18 (土)	受	付	開会式	活動 1 (あそび mix)	昼食	活 (怒涛の	動 2 鬼ごっこ)	休憩	夕食	活動 3 (ちょこっとあそび)	入浴等	就寝
	6:30 7	6:30 7:00 8:00 9:00 11:00 11:30										
5/19 (日)	起 朝 部屋 活動 4 (チームで力をあわせよ)			振りかえり	解散							

#### 4 ねらいを達成するための活動の工夫

- ■誰もが楽しめるプログラム作り
  - ・わかりやすい種目を選択し、ルールを単純化することで、誰もがすぐに楽しめる"遊び"の体験を提供した。
  - ・動きの多い遊びと動きの少ない遊びのバランスを考え、参加者 の体力に左右されず楽しめるプログラムにした。
- ■興味を引く"遊び"の選定
  - ・日本ではあまり知られていない外国の遊びや、日本古来の遊び など、参加者の好奇心を刺激する種目を選んだ。
- ■活動グループの工夫
  - ・全体での活動と小グループでの活動を組み合わせることにより、 より多くの参加者と交流できるように工夫した。



日本古来の遊びを再現し楽しむ



チーム戦で交流を深める

#### 5 事業の評価

はじめて会った人とも交流し活動できたか 年齢に関係なく交流できたか 新しい友達をつくることができたか



0% 20% 40% 60% 80% 100%

- ■とても思う ■すこし思う ■あまり思わない ■思わない ■回答なし
- ■参加者アンケートから、 「交流」に関する項目で、90%以上が肯定的な評価をした。

#### 6 ねらいを踏まえた成果と課題

- ●アンケートでは、「チームで協力することで友達との仲が深まった」などの声が多く見られるなど、遊びを通して楽しみながら交流する機会を多く設定したことで、多くの参加者が新しい友達をつくることができた。
- ○異年齢が混在するグループを意図的に作ったが、小学3年生と小学6年生など、離れた年齢の交流を促進させるには、さらなる工夫が必要である。



## 企画のポイント

参加者が容易に理解できるル ールの遊びを選定。

楽しみながら自然に交流でき る場の設定。